ふくい市議会だより

編集／発行　福井市議会事務局　福井市大手３丁目10番１号　TEL.0776-20-5510　平成20年5月10日発行　No.169

第23回 ふくい春まつり「越前時代行列」

INDEX

［主な内容］

1	２月臨時会、３月定例会の概要
2	主な議案
2-3	委員会審査
3-6	一般質問
6	予算特別委員会
7	議会日誌
7-8	議案等の審議結果

②月 臨時会

副市長の選任について

２月８日、副市長に吹矢清和氏を選任することに同意しました。

③月 定例会

平成20年度当初予算を可決

３月定例会は繰り上げて招集され、２月26日から３月25日までの29日間の会期で開かれました。

今定例会では、「平成20年度福井市一般会計予算」を初めとする各会計予算、「福井市後期高齢者医療に関する条例の制定について」、「福井市都市景観条例の全部改正について」、「福井市伊自良館の指定管理者の指定について」など市長提出議案59件、報告６件を審議した結果、議案はいずれも原案どおり可決、報告は５件を承認、１件を受理しました。

請願、陳情については、今回新たに提出された請願１件、12月定例会において継続審査となっていた請願２件を審議した結果、１件を採択、１件を不採択、１件を継続審査とすることに決定しました。

また、議員提出の議案、「道路特定財源の暫定税率堅持及び関連法案の年度内成立を求める意見書について」、「介護労働者の待遇改善を求める意見書について」の２件を審議し、いずれも原案どおり可決しました。なお、意見書については関係機関に提出することに決定しました。

そのほか、市政に対する一般質問を、代表質問６人、個人質問17人の議員が行い、３月25日に予定した日程を全部終え閉会しました。

主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。
議案等の審議結果は、7～8頁に掲載しています。

平成20年度当初予算

今回の当初予算は、「第五次福井市総合計画」を施策の基本としつつ、「希望と安心のふくい」の実現に向けた取り組みを重点的かつ効率的に推進するとともに、厳しい財政状況を踏まえ、従来にも増して歳出全般にわたる徹底した見直しを行い、歳出の抑制により財源不足を解消し、収支の均衡を図りながら決算重視の無理、無駄のない予算編成に心がけた内容になりました。

なお、各会計予算は左表のとおりです。

平成20年度 各会計予算総括表（単位：千円）

会計区分		予算額
一般会計		93,694,000
特別会計	国民健康保険	21,855,000
	国民健康保険診療所	6,800
	老人保健	2,231,000
	後期高齢者医療	2,981,000
	介護保険	17,133,000
	交通災害共済	44,200
	競輪	17,147,000
	簡易水道	393,000
	宅地造成	6,496,000
	中央卸売市場	763,000
	駐車場	598,000
	集落排水	1,352,000
	地域生活排水	413,000
	福井駅周辺整備	1,617,000
企業会計	下水道事業	20,427,000
	ガス事業	4,970,427
	水道事業	10,356,443
合計		202,477,870

平成19年度補正予算

今回の補正は、地方バス路線等の運行維持費補助金、えちぜん鉄道や福井鉄道福武線への支援、企業立地に係る助成金、ケーブルテレビ未提供地域への基盤整備支援、寄付金等を原資に教育振興基金を設置するため等、一般会計で27億8,490万7千円を増額。また、福井市国民健康保険特別会計ほか2つの特別会計で36億2,598万2千円を増額するもので、補正後の予算額は全会計で2,360億6,818万円となります。

条例

○福井市後期高齢者医療に関する条例の制定について

福井市における後期高齢者医療事務を本年4月1日から実施するために制定するものです。

○福井市都市景観条例の全部改正について

景観法の施行について必要な事項を定めるとともに、良好な景観の形成に係る基本的な事項を定めることを目的に改正するものです。

意見書の提出

地方自治法第99条の規定により、次の意見書を内閣総理大臣ほか、関係機関に提出しました。

○道路特定財源の暫定税率堅持及び関連法案の年度内成立を求める意見書について

○介護労働者の待遇改善を求める意見書について

委員会審査

各特別委員会、各常任委員会の委員長報告から主な質疑等の要旨を紹介します。

行財政改革特別委員会

《競輪事業の包括的民間委託》

問 競輪事業は現在黒字であるにもかかわらず、なぜ今後のあり方として包括的民間委託が最も妥当だとの基本方針に達したのか。

答 競輪事業は現在、収益的に非常に厳しい状況であり、事業存続を前提に黒字のうちに方向性を示したいとの考えから、今回の基本方針をまとめたが、関係者等の問題や財政的な効果などをさらに精査する必要があるので、今後も十分研究していきたい。

県都活性化対策特別委員会

《福井駅西口再開発ビル》

問 福井駅西口再開発ビルの概要はいつごろ決まるのか。

答 平成20年の秋をめどに全体の構想を固めたいと考えているが、ホテル事業の誘致が一番の課題であり、その動向によって再開発ビルにおけるその他の施設のあり方を考えていく。

子育て・青少年育成等対策特別委員会

《公立保育所の民間委譲》

問 三谷館保育園が民間委譲されたことを踏まえて、現在保護者とのトラブルはないのか。

答 当時、民間委譲に関する説明会では、委譲先が決定しておらず、行政職員のみの出席であったため、保育内容、保育サービスについてはっきりとした回答ができず、保護者の方々から不安を感じる意見が多かった。

しかし、今回の民間委譲は事業提案方式を採用するため、説明会に行政職員と民間事業者が出席することで、民間事業者の保育に対する考え方やサービス内容についてはっきりとした説明ができるので、保護者の方々の不安も解消できると考えている。

農林水産業振興対策特別委員会

《園芸振興対策》

問 Question 農薬に関する管理や指導などをしているのか。

答 Answer 園芸作物については、県のエコファーマー制度があり、農薬あるいは化学肥料を通常の使用より2割以上減らせば県からエコファーマーに認定され、それぞれ5割以上減らせば特別栽培農産物となるので、これらを今後推進していきたい。

また、農産物の生産工程において農薬の種類や使用時期について記録をとるGAPという管理手法があり、この手法を導入推進するために、各JAに対し助成をしている。

総務委員会

《職員削減》

問 Question 職員の削減はやむを得ない面はあるが、このまま削減を続けて市民生活に影響が出ることはないのか。将来の見通しを立てているのか。

答 Answer 市税収入は減少し続けているが、行政サービスを維持しつつ、時代の要請にあった施策も拡充していかなければならない。そのためには、行政で担うべき事務事業は市職員で対応するが、民間でできる部分は民間のノウハウを活用するという方向性を持っており、今後も可能な限り人件費抑制の努力を続けなければならないと考えている。

建設委員会

《福井駅周辺整備事業》

問 Question 他市と比較し特色あるまちになるために、どのような方向でまちづくりを進めるのか。

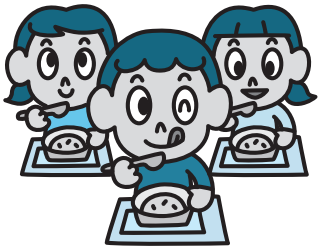
答 Answer 福井市は多くの県庁所在地と比較しても、非常に高い社会基盤のストックがあることが特徴で、市民意識調査などをみても、市民は住環境にかなり満足している。まずは市民が自分の住んでいる地域に誇りと自信を持ってまちづくりを進めていくことが必要である。

教育民生委員会

《学校給食費》

問 Question 材料費の高騰や食の安全の問題は今後も続くと考えられるが、当初予算で対応できるのか。

答 Answer 来年度は平均で10％前後値上がりするものが多いと考えており、かなり苦しい状況であるが、現段階ではいろいろな工夫をして、給食費を値上げせずに、学校給食の役割を果たしていけるように努力していきたい。



経済企業委員会

《福井市ガス事業》

問 Question ガス工場等を業務委託しているが、地震等の危機管理に対応するためにも技術者や資格を持つ職員が必要であるが、職員育成をどう考えているのか。

答 Answer 職員の異動もあり育成が難しい面もあるが、様々な研修等に職員を派遣して育成に努めたい。また、現在空いているガス工場の施設を利用して、技術継承等を目的とした研修機関をつくることも検討している。

一般質問

直面する諸問題について市の考え方を質問するため、各会派を代表した6名の議員並びに17名の議員が一般質問を行いました。
その中から主なものの要旨を掲載します。

代表質問者（質問順）

新政会（見谷 喜代三）
市民クラブ（吉田 琴一）
志成会（青木 幹雄）
公明党（西本 恵一）
政友会（浜田 篤）
日本共産党議員団（西村 公子）［敬称略］

農業問題

問 Question 今回の米価下落は農家を経済的に圧迫し、営農の意欲を失わせ、本市の農業にとって憂慮すべき事態であるが、その対応策は。

答 Answer 本市の農業振興を図るためには国の制度見直しなどを十分に活用し、集落営農組織や認定農業者の育成を推進するとともに、産地間競争に負けない良質米や安全・安心な農作物を求める消費者ニーズに合った特別栽培米や有機米など特徴ある米の生産拡大を進めることが重要である。また、担い手の所得向上のためには高収益につながる園芸作物の振興もあわせて推進する必要があると考えている。

えちぜん鉄道高架乗り入れ

問 Question 今後どのような計画でえちぜん鉄道の高架乗り入れ事業が進められるのか。

答 Answer 勝山永平寺線は、新幹線開業までの間は暫定的に福井駅部の新幹線高架に乗り入れを行い、新幹線開業後は在来線高架に乗り入れる計画となっている。また、三国芦原線は、さきの福井市都市交通戦略協議会において福井鉄道福武線への乗り入れと高頻度運行の方向性について基本的な合意が得られた。今後は事業化に向け検討、協議を深めていく。

福井市観光ビジョン

問 Question 平成19年度に策定された観光ビジョン実現のための平成20年度の具体的な取り組みと考え方は。

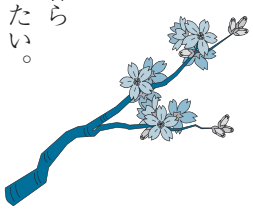
答 Answer 市民、団体、観光事業者を対象に、おもてなしの

心の醸成などを図るためのシンポジウムや観光能力の向上を図るための研修会などを開催するとともに、近隣の市、町との連絡会を組織し、効率的な広域観光の方向性を見出していく。まずは市民意識の高揚を図るとともに、即効性や実効性の高い事業から着手したい。

地方分権

問 市長は地方分権はどうあるべきで、5年後、10年後の福井市はどうなっているべきと考えるか。

答 住民に最も近い基礎自治体である市町村が住民ニーズをくみ上げ、みずからの判断において住民サービスを提供し、そのための財源も自分たちで確保していく自主・自立の精神に基づく自治体運営こそが真の自治体のあるべき姿であり、そうした観点から地方分権改革が進められるべきと考えている。5年後、10年後には真の地方分権が進展し、国、県、市町村の役割分担が明確化され、福井市として自己実現、自己決定の原則のもと、市民一人一人が笑顔で暮らせるまちにしたい。



通学者移動支援

問 学生生活に負担のかからないバスダイヤの編成と、遠距離バス通学に対する家計負担軽減策が必要では。

答 これまでの全線フリー通学定期は、通常定期よりも格安だが、6カ月分の一括購入しかできなかったため、分割払いを可能とすることでさらに負担軽減を図る。また、利用しやすいダイヤについては、昨年11月から通学時間帯に鮎川線特急バスが創設されるなど、バス事業者も改善を図っているが、今後も地域からの要望について事業者とも協議したい。

国民健康保険税率改定

問 今回の応益割の割合を増やす国保税率改定により、所得割もかからず、資産もない低所得者には大幅な値上げになるのではないか。低所得者世帯に対する対策は。

答 今回の改定に当たり従来の軽減措置の拡充を予定しており、応能割、応益割の比率を見直し、従来の6割、4割軽減を7割、5割軽減に拡大し、さらに2割軽減を新たに導入する。また、後期高齢者医療制度の適用により、被用者保険の被扶養者から国保被保険者になった方には2年間、所得、資産の有無にかかわらず所得割と資産割は賦課せず、軽減に該当する場合を除き均等割を2分の1、旧被扶養者のみの世帯は平等割も2分の1とする減免を実施する。

個人質問者（質問順）

皆川 信正　宮﨑 弥麿
後藤 勇一　下畑 健二
今村 辰和　奥島 光晴
島川 由美子　峯田 信一
鈴木 正樹　塩谷 雄一
川井 憲二　巳寅 令子
稲木 義幸　松山 俊弘
谷出 共栄　堀江 廣海
堀川 秀樹

［敬称略］

放課後児童の居場所づくり

問 児童館のない地区や児童館が定員オーバーで受入れ困難な地区では小学校の余裕教室を活用して、小学校3年生までは受け入れるべきではないか。

答 現在本市では、児童会、児童クラブ事業については1、2年生の完全受け入れを目指し、全地区での放課後子ども プラン事業の実施に向けた取り組みを行っている。こうした取り組みのめどがついた後に、児童館で行っている児童クラブに入れない3年生への対応を行っていきたい。また、学校施設の使用は、余裕教室等があれば福祉部門と学校現場が十分協議しながら要望に対応していきたい。

教育改革

問 市長が目指す日本最高水準の教育システムの具体的な内容は。

答 みずからの将来をしっかり見据え、夢を持ち、これからどのように生きていくのか、そのためにどのような力を身につけなければならないのかといったことをみずから考え行動することのできる生きる力を子供たちに育てていくために、学校と家庭と地域が一体となって、子供たちを育てていく体制や環境を整える必要があると考えている。本年度中に福井市教育支援プランを制定し、具体的な施策をまとめたい。

市民活動センター

問 JR高架下利用計画から市民活動センターがなくなったが、そうなった経緯は。

答 ふくい県民活動センターがアオッサ7階に移転し順調に運営されている中、本市の市民活動センターを高架下に設置すると利用者が分散するおそれや、両方の活動センターの運営に支障が生ずる懸念があるため、福井駅高架下での整備を断念し、設置場所や機能、運営方法等を再度検討することとした。

災害時要援護者避難所

問 障害やその人の状況によって一般の避難所での対応が困難な場合が予想されるが、専門的対応ができる施設を避難所とできないか。

答 本市の地域防災計画では、避難所での生活が著しく困難となる高齢者や障害者の方のために、二次的な避難所を整備することにしており、災害時要援護者避難支援制度も始まるので、福祉避難所の設置を早急に検討する。福祉施設の利用が望ましいが、受入れ人数等の問題もあるので、今後、防災行政と福祉行政が十分に調整し、関係施設に協力の要請をしていきたい。

入札制度改革

問 福井県は指名競争入札を原則廃止し、地域要件を取り入れるが、本市では考えていないのか。

答 本市は一般競争入札の導入にいち早く取り組み、現在は地域性を重視した指名競

争入札との併用による入札制度を採用している。一般競争入札に地域要件を当てはめた場合、発注件数や業者数は地域によって隔たりがあることから、公平性、競争性が阻害されるおそれがあるので、発注基準の見直しや参加条件の設定等の観点からこの問題に取り組むべきではないかと考えている。

足羽川右岸堤防の桜

問 激特事業による右岸堤防工事も進んでいるが、浜町などの整備計画は。

答 右岸の浜町界隈「さくらの小径」の整備は、地元、市、県激特事務所で協議を進め、幸橋から桜橋間の桜は撤去し、植樹枡による桜の若木を植樹し、桜橋から九十九橋間は現在ある桜をできるだけ生かした整備を検討している。本市としては、来年度の県の激特事業に合わせ、夜間の景観にも配慮した安全で快適な歩行空間を確保し、桜の開花時期以外にも多くの観光客や市民が憩える環境づくりを進めたい。

子育て支援相談窓口

問 アオッサ5階の男女共同参画・子ども家庭センターの相談窓口の対象者は。

答 毎週火曜と年末年始以外は開所しており、誰でも相談できる。子供相談は主に15歳未満の子供に関するさまざまな問題について、女性相談は女性が抱える問題や悩みについて、必要な助言や情報提供を行っている。小児科及び精神科医による専門相談、弁護士による専門相談は、それぞれ毎月2回行っており、子供や家庭に関する医学的な相談や法的な相談ができるが、予約が必要となる。

市有財産の有効活用

問 市有財産の有効活用にどのような方針で臨むのか。

答 市有財産等有効活用検討委員会を設置し、市町村合併で引き継いだ未利用財産の取扱いや今後の状況の変化等も踏まえ、検討を進めている。さらに平成14年度に策定した市有財産等有効活用基本方針を現状に沿った形で改定し、市有財産の有効活用や未利用財産の処分等に積極的に取り組んでいく。

税金滞納者納税相談

問 納税相談の際、生活状況を聞き取るなど親身な対応が行われているのか。

答 税金滞納者からの経済状況に関する相談について、開庁時間には常時納税課窓口で受け付けているほか、年間に40日余り夜間・休日の納税窓口を開設している。また、徴税吏員及び徴収嘱託員等が戸別訪問を行い、納税者との面談の中で生活状況等を把握するように努め、生活困窮等が見受けられるならば、必要に応じ支援機関の紹介等のアドバイスを行っている。

八幡山のカラス対策

問 カラス被害が多い地区で、カラス被害防止に一定の効果があると思われる黄色いごみ袋を使ったごみ収集を試験的に行ってはどうか。

答 実証試験の結果では黄色いごみ袋であれば被害がないという決定的な結果は出ておらず、価格なども検討する中で導入を見送った自治体もある。今後は先行実施をした自治体の導入結果も踏まえ、被害地区の実態を調査し検討を行っていく。

障害者雇用率向上

問 本市ではどのように障害者雇用率を高めていくのか。

答 本市においても企業に対し雇用率を高め継続雇用を目的とした雇用奨励金制度のPRや、障害者雇用促進展開催等により県や関係機関とも連携し、啓発活動を積極的に実施する。さらにリハビリや職業訓練を行いながら働き、セルプショップ（社会参加を実現するための社会福祉施設）への就労や障害者の家族への支援策など、障害者の雇用率を高める有効な施策を研究していきたい。

バイオ燃料

問 本市でもバイオ燃料などを取り入れて、より温室効果ガス削減を図る取り組みを進めるべきではないか。

答 市内でも廃食用油からBDF燃料を精製、利用することを目的に、流通や運送事業者、JA等22社が集まり、昨年5月に福井バイオディーゼル燃料地域協議会が発足し、昨年11月にはバイオ燃料を製造するNPO法人も設立された。今後は協議会やNPO法人の取り組み状況を十分把握し、給食センターや保育園等から出る食用油の利用やBDF燃料の公用車使用について調査研究したい。

福井鉄道福武線存続問題

問 鉄道部門事業だけの会社にして支援するべきではないか。

答 福井鉄道福武線協議会の中で十分検討を行っているところだが、鉄道事業だけの会社にするには手続等に期間がかかることや、さまざまな課題を考慮して、名古屋鉄道株式会社から10億円の資金提供を受ける支援策を決定した。今後は行政の支援がグループ全体への支援とならないよう、県と沿線市を初め関係者と十分検討していきたい。

公共交通空白地帯対策

問 路線バス網のない地域を救済する策はあるのか。病院、幼・保育園の送迎バスや地域ボランティアとの連携の考えはあるか。

答 市の周辺部においては、多様な交通手段が利用でき、拠点から必要に応じて幹線交通軸に乗り継げるような交通のあり方を将来像と設定している。既存の路線バスを初めフィーダーバス等を含め、パーク・アンド・ライド環境の整備など地域ごとの特性に対応し、多様な交通手段の有効活用を検討していきたい。また、福祉や教育、ボランティアなども含めた検討も行う必要があると考えている。

顕彰記念事業

問 Question
本市の歴史人物、偉人の顕彰記念事業への支援基準はあるか。

答 Answer
本市の偉人について、福井市民の誇り百選、歴史人物ガイドブック、子ども歴史クラブ、市のホームページなどで広く周知、広報に努めており、今後も市民に対し積極的に啓発し、地域の方々が地域の宝として語り継いでいけるよう機運の醸成を図っていく。明確な支援基準はないが、節目の年などにその都度検討したい。

市長マニフェスト

問 Question
「希望と安心のふくい新ビジョン」に基づいた新市長オリジナルの施策はあるか。

答 Answer
平成20年度は実質的に初年度となるため検討、研究期間のものも多いが、教育環境の整備を目指す教育支援プランの策定、教育ウイークの実施などを盛り込んだ地域に生きる学校づくり推進事業、大学生等と連携した新たなビジネス拠点を目指すまちなか研究室の設置等を当初予算に反映した。

社南小学校施設増築

問 Question
学校や地元からの特別教室（音楽室、理科室）及び普通教室増築要望にもかかわらず、普通教室と少人数教室増築に決定された経緯と理由は。

答 Answer
学校の希望を最優先する中で、十分協議を重ねながら、可能な限り早く対応すること、普通教室を増設すること、体育館面積の拡充かつ敷地内のグラウンド面積を減らさないことという条件を踏まえ、体育館増築と同時に5つの教室増設を計画した。増築完成後に教室全体の中で特別教室を確保できる状況にあるか、学校教室全体の有効利用について今後も学校側と十分協議し、教育環境の改善に努めたい。

予算特別委員会

委員長報告から主な質疑等の要旨を紹介します。

委員の変更

7名の委員から辞任願が提出されたため、3月3日の本会議において新たに7名の委員の選任を行いました。

【辞任】
田辺 義輝　中谷 輝雄
松山 俊弘　川井 憲二
稲木 義幸　峯田 信一
下畑 健二

【選任】
栗田 政次　山口 清盛
宮﨑 弥磨　見谷 喜代三
今村 辰和　堀江 廣海
奥島 光晴

［敬称略］

審査結果

2月26日の本会議において予算特別委員会に付託された各予算議案及び市政上の重要案件について審査するため、3月17日及び18日に委員会を開催しました。

審査の結果、付託された予算議案については、いずれも原案どおり可決しました。

（議案名は7～8頁参照）

主な質疑

《西部幹線路線活性化事業》

問 Question
すかっとランド九頭竜横にパーク・アンド・ライドの駐車場が整備されるとのことだが、その先に位置する国見・鷹巣・棗地区の住民には利用しづらい。今後、鷹巣地区などにおいても公共用地を活用してパーク・アンド・ライドの駐車場を整備する可能性はあるのか。

答 Answer
パーク・アンド・ライドの駐車場の整備は、周辺市街地や農山漁村地域における公共交通の利便性を高める有効な手段であると考えており、鷹巣地区などにおけるパーク・アンド・ライドの駐車場の整備については、今後、地域住民を初め、関係者との協議を行いながら、地域の実情や要望などを検討した上で、対策を講じていきたい。

《コミュニティバスすまいる》

要望
本市は、コミュニティバスすまいるの運営を行っているまちづくり福井株式会社の株式の過半数を取得しているので、ルートを変更する場合は本市がリーダーシップを取り、ルートに関係する地区の自治会連合会会長の意見を集め、それをコミュニティバスすまいる検討会に意見として上げて、地元の要望等に早急に対応してほしい。

《馬渡川の環境問題》

問 Question
昨年、馬渡川でダイオキシン類が検出されたことが報道されたが、その後の対応はどのようになっているのか

答 Answer
馬渡川の汚染について過去に使用された農薬及び染色工場での使用染料に含まれる不純物によりダイオキシン類の影響があるという調査結果が出たため、県と共同で事業者に対して実態調査とダイオキシン類の低減化対策を求めたところ、3月上旬からダイオキシン類の含有量がより少ない安全な染料へ変更したとの報告を受けた。今後も継続して水質状況を監視するとともに、県と共同で事業者への指導に当たっていきたい。

《外国人漁業研修生受入事業》

問 Question
受入れ業者も研修生も一生懸命頑張っているにもかかわらず、新聞等で批判的な記事が掲載されたことをどう思うか。

答 Answer
本市が第一次受入れ機関となり、地元受入れ業者が研修生に日本の漁業技術等を伝授し、それぞれが祖国において能力を発揮してもらうという国際貢献事業であり、地元の人たちとの交流も盛んに行われている。また、結果として地域の活性化を促し、地元の若者が漁業後継者としての意識を持つことに繋がっていくことも期待している。この目的に沿った中で研修生も頑張っており、御指摘のことについては非常に残念に思う。

議会日誌（1月～3月）

1月22日	議会運営委員会
1月23日	全国競輪主催地議会議長会近畿部会
	先進都市行政視察（～24日）（北九州市、大阪市）
28日	福井県市議会議長会臨時総会及び県知事要望
29日	農林水産業振興対策特別委員会市内視察
31日	全国競輪主催地議会議長会役員会（大垣市）
2月5日	議会運営委員会
8日	全国市議会議長会市議会議員共済会（東京都）
15日	福井県市議会議長会臨時総会
18日	行財政改革特別委員会、県都活性化対策特別委員会
19日	予算説明会、全員協議会
20日	子育て・青少年育成等対策特別委員会、農林水産業振興対策特別委員会
21日	行財政改革特別委員会
2月臨時会	
2月8日	議会運営委員会、全員協議会、本会議
3月定例会	
2月26日	本会議
27日	議会運営委員会
3月3日	本会議
4日	本会議
5日	本会議
6日	総務委員会（～7日）、建設委員会（～7日）
10日	教育民生委員会（～11日）、経済企業委員会（～11日）
17日	予算特別委員会（～18日）
21日	議会運営委員会
25日	本会議

議案等の審議結果

《2月臨時会》

議案番号	件名	審議結果	
第109号議案	副市長の選任について	2月 8日	同 意

《3月定例会》

議案番号	件名	審議結果	
第 1 号議案	平成20年度福井市一般会計予算	3月25日	原案可決
第 2 号議案	平成20年度福井市国民健康保険特別会計予算	〃	〃
第 3 号議案	平成20年度福井市国民健康保険診療所特別会計予算	〃	〃
第 4 号議案	平成20年度福井市老人保健特別会計予算	〃	〃
第 5 号議案	平成20年度福井市後期高齢者医療特別会計予算	〃	〃
第 6 号議案	平成20年度福井市介護保険特別会計予算	〃	〃
第 7 号議案	平成20年度福井市交通災害共済特別会計予算	〃	〃
第 8 号議案	平成20年度福井市競輪特別会計予算	〃	〃
第 9 号議案	平成20年度福井市簡易水道特別会計予算	〃	〃
第10号議案	平成20年度福井市宅地造成特別会計予算	〃	〃
第11号議案	平成20年度福井市中央卸売市場特別会計予算	〃	〃
第12号議案	平成20年度福井市駐車場特別会計予算	〃	〃
第13号議案	平成20年度福井市集落排水特別会計予算	〃	〃
第14号議案	平成20年度福井市地域生活排水特別会計予算	〃	〃
第15号議案	平成20年度福井市福井駅周辺整備特別会計予算	〃	〃
第16号議案	平成20年度福井市下水道事業会計予算	〃	〃
第17号議案	平成20年度福井市ガス事業会計予算	〃	〃
第18号議案	平成20年度福井市水道事業会計予算	〃	〃
第19号議案	福井市後期高齢者医療に関する条例の制定について	〃	〃
第20号議案	福井市職員の育児休業等に関する条例等の一部改正について	〃	〃
第21号議案	福井市特別会計条例の一部改正について	〃	〃
第22号議案	福井市土地開発基金条例の一部改正について	〃	〃
第23号議案	福井市重度障害者（児）医療費等の助成に関する条例の一部改正について	〃	〃
第24号議案	福井市児童館条例の一部改正について	〃	〃
第25号議案	福井市国民健康保険条例の一部改正について	〃	〃
第26号議案	福井市介護保険条例の一部改正について	〃	〃
第27号議案	福井市診療所の設置及び管理に関する条例等の一部改正について	〃	〃
第28号議案	福井市簡易水道等給水条例の一部改正について	〃	〃
第29号議案	福井市集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	〃	〃
第30号議案	福井市都市公園条例の一部改正について	〃	〃
第31号議案	福井市学校設置条例の一部改正について	〃	〃
第32号議案	福井市立幼稚園入園料及び保育料徴収条例の一部改正について	〃	〃
第33号議案	福井市公民館設置に関する条例の一部改正について	〃	〃

議案番号	件名	審議結果	
第３４号議案	福井市体育施設条例の一部改正について	3月25日	原案可決
第３５号議案	福井市国民健康保険高額療養資金貸付基金条例の廃止について	〃	〃
第３６号議案	福井市青年の家設置に関する条例の廃止について	〃	〃
第３７号議案	福井市伊自良館の指定管理者の指定について	〃	〃
第３８号議案	福井市マイドーム清水の指定管理者の指定について	〃	〃
第３９号議案	福井市美山楽く楽く亭の指定管理者の指定について	〃	〃
第４０号議案	福井市みやま長寿そば道場「ごっつおさん亭」の指定管理者の指定について	〃	〃
第４１号議案	福井市農園施設マイファーム清水の指定管理者の指定について	〃	〃
第４２号議案	福井市ＳＳＴらんどの指定管理者の指定について	〃	〃
第４３号議案	福井市リズムの森の指定管理者の指定について	〃	〃
第４４号議案	福井県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	〃	〃
第４５号議案	福井市都市景観条例の全部改正について	〃	〃
第１１０号議案	平成１９年度福井市一般会計補正予算	〃	〃
第１１１号議案	平成１９年度福井市国民健康保険特別会計補正予算	〃	〃
第１１２号議案	平成１９年度福井市老人保健特別会計補正予算	〃	〃
第１１３号議案	平成１９年度福井市介護保険特別会計補正予算	〃	〃
第１１４号議案	平成１９年度福井市簡易水道特別会計補正予算	〃	〃
第１１５号議案	平成１９年度福井市宅地造成特別会計補正予算	〃	〃
第１１６号議案	平成１９年度福井市集落排水特別会計補正予算	〃	〃
第１１７号議案	平成１９年度福井市福井駅周辺整備特別会計補正予算	〃	〃
第１１８号議案	平成１９年度福井市下水道事業会計補正予算	〃	〃
第１１９号議案	福井市教育振興基金条例の制定について	〃	〃
第１２０号議案	財産の取得について（小学校教職員用コンピュータ機器及び小学校教育用コンピュータ更新機器）	〃	〃
第１２１号議案	市道の路線の廃止について	〃	〃
第１２２号議案	市道の路線の認定について	〃	〃
第１２３号議案	福井県自治会館組合規約の変更について	〃	〃
市会案第７号	道路特定財源の暫定税率堅持及び関連法案の年度内成立を求める意見書について	3月　3日	〃
市会案第８号	介護労働者の待遇改善を求める意見書について	3月25日	〃
第４５号報告	専決処分の承認を求めることについて（平成１９年度福井市一般会計補正予算）	〃	承　認
第４６号報告	専決処分の承認を求めることについて（平成１９年度福井市簡易水道特別会計補正予算）	〃	〃
第４７号報告	専決処分の承認を求めることについて（平成１９年度福井市集落排水特別会計補正予算）	〃	〃
第４８号報告	専決処分の承認を求めることについて（平成１９年度福井市下水道事業会計補正予算）	〃	〃
第４９号報告	専決処分の承認を求めることについて（平成１９年度福井市水道事業会計補正予算）	〃	〃
第５０号報告	専決処分の報告について（工事請負契約の変更について）	2月26日	受　理

請願・陳情等の審議結果

《3月定例会》

請願番号	件名	審議結果	
請願第1号	後期高齢者医療制度に関する請願	3月25日	不採択
請願第3号	子どもの医療費の完全無料化を求める請願	〃	継続審査
請願第6号	（仮称）片町交番の設置に関する請願	〃	採　択

インターネットで会議録がご覧になれます！

福井市議会の平成８年以降の本会議録及び
平成 18 年６月以降の委員会顛末書をホームページでご覧いただけます。
市議会のホームページのアドレスは次のとおりです。

http://www.city.fukui.lg.jp/d570/sigikai/index.html

傍聴をしてみませんか。

傍聴のできる会議

- ○本会議　一般席　91
- ○常任委員会　車イス用スペース　6
  - 総務
  - 建設
  - 教育民生
  - 経済企業
- ○特別委員会
  - 行財政改革、県都活性化対策
  - 子育て、青少年育成等対策
  - 農林水産業振興対策、予算

次回は**6月定例会**です。
（日程が決まり次第ホームページでお知らせします。）

なお、本会議、予算特別委員会の模様はふくチャンネル29（福井ケーブルテレビ29ｃｈ、美山地区はこしの国ケーブルテレビ１ｃｈ）で生放送及び録画放送されます。

お問い合わせ　議会事務局議事調査課　☎（0776）20-5510

請願・陳情書等の提出について

請願・陳情などは、基本的にいつでも提出できますが、年４回（３・６・９・12月）開催される定例会で審議されますので、提出時期等詳細については事前に議会事務局にお問い合わせください。

再生紙を使用しています。 PRINTED WITH SOY INK